



学校だより2月号

令和6年1月31日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)



共に育てる

校長 鐘江 ミサ

先日、三金公園の近くに住む保護者の方から、ご相談を受けました。三金公園で石が飛び交うことがあり、近くの家の駐車場の車が傷ついたり、怪我をする人がいたりしている。また、近隣にお住いの方々が利用しにくい状況もあり、自治会の方々も大変心配していらっしゃるとのことでした。石が近くを飛んで怖い思いをした子どもたちもいるということも聞きました。学校で指導をしてほしいとの要望を伺いました。楽しく遊べるはずの公園で、そんなことが起こっていることはとても心配で、実際に飛んできたという石を見せていただきましたが、大人の片手にすっぽりはまるほどの大きさで、かなり重いものでした。たくさん子どもたちが遊ぶ公園で、そんな危険なことがあるとすれば、怪我をしたり、させたりすることはあってはならないと思いますし、そもそも石を手にして遊んでいるとすれば、それも正しい遊び方ではないので、学校として、しっかり指導をしなければならないと思いました。

まず、6年生の子どもたちと話をしました。最初に石の重さを感じてほしくて、一人一人に持ってもらい、現状を話し、どんなに危険かを考えてもらいました。こんな石が飛んだらどうなるか考えると、命に関わる危険なことだということが出てきました。そして、怪我をさせるということが、どんな行為になるかも分かっていました。加えて、自分たちの公園での遊び方についても振り返りをしました。大勢で集まりすぎているか、大部分を占拠していないか、大きな声で話して騒ぐようなことはないか、物を食べる時のマナーは適切か、危険な遊びはしていないか等です。ボールで遊ぶことは多いようで、ボールが公園の外に出てしまったり、近所のお宅の庭に入ってしまった経験のある児童もいて、安全に遊ぶということを改めて考えることができました。

まとめに、公園は小さい子からお年寄りまで、様々な人が自由な過ごし方のできる場所であり、地域の公園は、自治会の皆さんが大切に管理してくれていること、三金公園も自治会の皆さんが、石投げの事故が多いので、危険なことが起こらないように石を拾ってくださっていることも伝えました。地域の方々が自分たちを助けてくださっていることや見えないところでやってくださっていることに気付けるように周りをよく見て行動してほしいと伝えました。5年生にも同じように話をし、真剣に受けとめる様子が見られました。

公園の遊び方の中で、危険な遊びはしないことや公園でのルールを守って遊ぶことについて、全ての学年に話をしていきます。夏休み前にも、一丁目公園のポイ捨ての件で、保護者の方よりお話をいただき、指導した経緯もあります。ぜひ、ご家庭でも、お子さんが安全に遊んでいるかを確認していただければと思います。学区の特徴として、住宅地が広がり、公園がたくさんあります。大きさもそれぞれで、ルールも違う公園で子どもたちが安全に楽しく遊ぶことができるよう、学校でもご家庭でも、子どもたちに、同じように伝えていけたらと思います。地域の皆様も、子どもたちの様子で気になることがあれば、お声をかけていただくか、お知らせいただければ有難いです。学校、家庭、地域で連携して子どもたちを育てていきたいです。どうぞよろしく願いいたします。

2月は、全校で「ネットやゲームの使い方を考えよう」の取組を行います。学校で授業をしてから、ご家庭でも取り組んでいただきたいです。長時間やりすぎているか、不適切なサイトにつながっているようなことはないか等、確認していただきながら、取り組むようお願いいたします。詳しくは、さくら連絡網で、お知らせしますのでご確認ください。